

受験期にある3年生の成長ぶり

川棚高等学校長 畑野 公昭

「失礼します！」このところ、3年生が校長室に度々入室してきます。「3年〇組〇〇です。このたび〇月〇日に〇〇を受験します。書類をご確認いただき、許可をお願いします！」本校では、進学や就職の受験旅行の届を、閲覧を必要とする先生方に生徒自らが持って回ります。どの生徒も、やや緊張しながら、申告する口ぶりは確かで迷いはありません。複数の先生方を自らの足で回中で、徐々に受験をする当事者としての自覚や決意が固まってくるのでしょう。その淀みのない立派な申告の口上だけで、私としては「合格！」を与えてあげたいくらいです。

生徒が受験届を持ってきたとき、一言二言ことばを交わします。「受験科目は何？」「準備は進みますか？」…最後に頑張れと言って送り出すのですが、生徒はみな「はい！」と笑顔で反応してくれます。そこがまた川高生の素敵なところですね。進学にせよ就職にせよ、やはり「受験」は人を育てるいい機会だと思います。もちろん受験の結果は、学科試験や小論文、面接などの競争によるもので、簡単には思うようになりませんが、自分が試される場に臨む凛とした表情や気構えが備わっている姿を見るだけで、大きな人間的成長を感じずにはいられません。

ただ、受験はやはり合格を目指して取り組むものです。10月8日に「大学入学共通テスト100日前集会」があり、そこで生徒に話した受験準備を進める上でのいくつかのポイントをあらためて記します。これは、概ね進学でも就職でも共通するものと考えています。

〇行きたいという思いの強さの順で合格は決まる。

〇免許や資格だけではなく、環境への憧れの強さが、意欲の高さにつながる。

〇人生の中で、必死になって取り組んだという時期があてい。

〇がむしゃらにやることと、やみくもにやることとは違。

〇不得意科目も、最初からきちんと見直せばわかるようになる。

などのアドバイスをを行いました。結局のところ受験をするのは誰かという当事者意識をもち、自分の手で切り拓く気持ちは何より大切でしょう。

校長室では年末をめどに生徒全員への面談を進めており、現在は3年生が進行中です。感心するのは、その多くが高い志を持っていることです。地域に貢献する公務員になりたい、わかりやすい授業のできる教師になりたい、世界を旅して自分にできることを探したい…単に何になりたいかだけではなく、「どのような」に魅力を持つ生徒の多さに驚かされます。3年生それぞれが心に抱く夢に、虹の橋がかかることを祈るばかりです。